

マグノックス炉

マグノックス炉 まぐのつくすろ

核燃料の被覆材にマグノックス（m a g n o x）を用いたガス冷却炉をいう。イギリスで開発された改良コルダーホール炉に対してもっぱら使われている呼名である。日本原子力発電の東海炉1号炉もマグノックス炉である。マグノックスはマグネシウム合金系の一種で、マグネシウムにアルミニウム、ベリリウム等がごく少量混じっている。酸化しないマグネシウムという英名からとった名である。この原子炉は燃料に天然ウランを、減速材と反射材に黒鉛を、原子炉冷却材に炭酸ガスを用いている。

<登録年月>

1998年01月
